

HHS報文の印刷体裁例

報告者氏名

郵便番号 報告者(あるいは所属先)住所 所属

はじめに

基本的にはこのページに例示する体裁に従った編集を行ってまいります。どうしても図表をページに収めなければならない時などのやむを得ない場合は、必ずしもこの体裁に従わない編集を行うこともあります。また、行数に関しても都合上変更する可能性があります。その際はご理解・ご協力の検討をお願いします。

材料及び方法

図は下記のように表示されます(図1)。基本は文章内で図についての表記が現れている位置に近い場所で表示されますが、配置やスペースの問題により、図の場所が変わることがあります。その点は編集に一任させていただければと思います。また、大型の図や表の場合は、配置が難しい場合もあり、ご希望の配置に添えない場合がありますので、その際はご容赦いただければと思います。基本は白黒印刷となりますので、カラーの写真をご提出いただいても、白黒に変換させていただいての掲載となります。図の配置は読者が読んでいる方向で図が認識できるようにします。写真の縦横比などの都合上、図の配置する方向を変えたい場合は、事前にお知らせ願います。

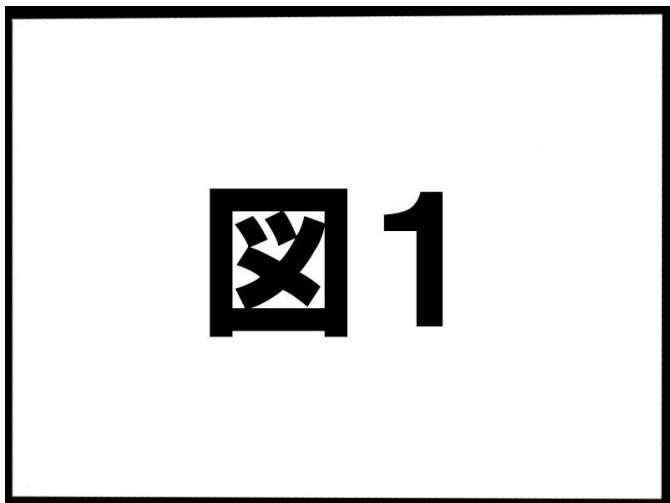


図1 図のキャプションは図の下に表示されます

結果

文字の行内は両端揃えで配置されます。句点、読点、英単語や学名などにより、1行の文字数が通常行の文字数より多い場合や少ない場合があります。表は下記のように表示されます(表1)。表のキャプションは図の場合と違い、表の上に説明が掲載されます。脚注は表の下に表示されます。表についても、ご提出いただいた表を編集で形を動かすこともあります。その際には表の意味が変わってしまわないか、など注意して扱います。

考察

学名の表示は斜体(イタリック体)なので、例えばアオダイショウ *Elaphe climacophora* のような表示となります。基本的に「。」は「.」に、「、」は「,」に置き換えられます。

引用文献

引用文献のリストは本文より若干小さいフォントになります。引用文献を見やすいように1行目は文頭が全角1字前に出ています。

Moichiro Maki. 1978. A MONOGRAPH OF THE SNAKES OF JAPAN.

Daiichi shobo, Tokyo 240 p.

水上信吉・三原嘉之・鳥羽通久・森口一. 1989. 北海道で採集されたシロマダラ. *The Snake* 21: 114-115.

徳田龍弘. 2018. シロマダラ. ハープソンHokkaido 2015-2017結果報告書 北海道爬虫両棲類研究報告別冊(003):9.

表1 表のキャプションは表の上に表示されます

※1 表の脚注は表の下に表示されます

HHS短報の印刷体裁例

報告者氏名

郵便番号 報告者(あるいは所属先)住所 所属

短報は基本的に短いものを扱います。編集の処理としては報告とほとんど変わりませんが、表題や報告者氏名等が、段組内に収まるような扱いになります。図や表の配置や取扱いは、報告と同じです。

短報は、一例報告や短い報告を扱いますが、文章の書き方は体裁には従う必要はありません。

「はじめに」「材料及び方法」「結果」「考察」等に分かれ、内容量のあるものは報文として扱いますが、著者からの依頼で短報とすることもあります。

原稿の概ねの書き方は、研究報告の後ろの方に掲載されている「投稿規定」(北海道爬虫両棲類研究会, 2018)を御覧ください。実際の書き方については、当会で書き方の具体的な案内を作成すべきところですが、現時点では用意できておりません。参考として日本爬虫両棲類学会の「爬虫両棲類学会報投稿ガイド」(日本爬虫両棲類学会, 2017)が論文の書き方が大変わかりやすくガイドされておりますので、ご一読されるのをおすすめいたします。また、いろいろな動物の観察記録を文章にしてみたいという方は「フィールドの観察から論文を書く方法」(濱尾, 2010)もわかりやすく、手頃な価格の本だと思います。

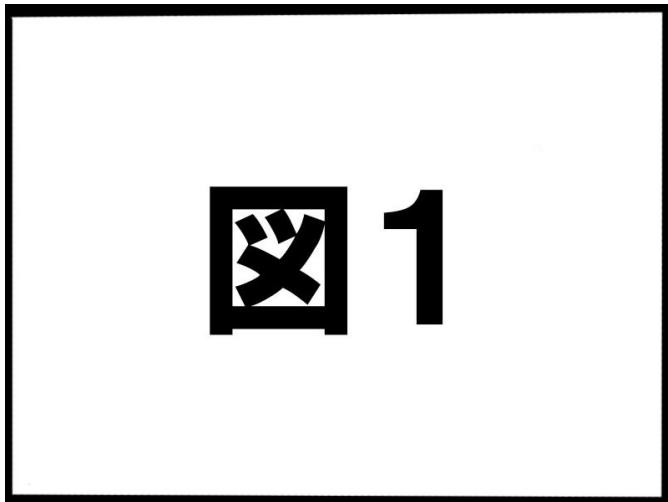


図1 図のキャプションは図の下に表示されます

表1 表のキャプションは表の上に表示されます

※1 表の脚注は表の下に表示されます

2019年に発行する「北海道爬虫両棲類研究報告Vol. 6」(北海道爬虫両棲類研究会, 未印刷)では、報文と短報の他に、自由な投稿枠として雑記が加わります。内容や書き方に関しては全くの自由です(内容が道徳的・社会的に反するものは不可ですが)。北海道爬虫両棲類研究会の編集者達が掲載に支障なしと判断するものについては、掲載していきますので、会員の皆様のコミュニケーションの場の一つとしてご利用いただいても良いと思います。ただし、研究報告が雑記メインの雑誌にならないよう配慮していくつもりです。

野外観察で「面白い!」と感じたことなどを書いておく記録として、北海道爬虫両棲類研究報告をお書きいただければ、多くの人たちの目に触れる機会になります。普段みなさまが感じている、両生類や爬虫類の面白いことが、将来の研究の糸口になることもあるかも知れません。書くことに興味を持った方は、事務局にご相談頂けたら幸いです。

引用文献

濱尾章二. 2010. フィールドの観察から論文を書く方法: 文一総合出版, 東京. 224p.

: 52-60.

北海道爬虫両棲類研究会. 2018. 投稿規定. 北海道爬虫両棲類研究報告Vol. 005:55.

日本爬虫両棲類学会. 2017. 爬虫両棲類学会報投稿ガイド. < http://herpetology.jp/publications/BHSJ_guide201712.pdf>.

(2019/1/4アクセス)